

平成 26 年度 津山市立一宮小学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 <small>（課題に対する改善方法）</small>	進捗状況 <small>（学期末時点）</small>	3 学期及び来年度へ向けて <small>（具体的な達成目標や数値目標等）</small>
	<p>朝学習の時間に，前学年・前単元・間違いやすい問題等の振り返りプリントを継続して行う。</p>	<p>A</p>	<p>毎朝 5 分間の前学年・単元学習内容の小プリントを継続すること自信がついてきた（基礎基本の定着）。さらに児童の実態に応じたプリントを作成し繰り返し行う。（95%の正答率）</p> <p>つまずきを自分で発見できるようにプリントを工夫し，自分で間違いに気づき間違わない方法を取得できるようになってきた（学び方の定着）。つまずきのある児童には，休み時間や放課後に個別指導を行う。</p> <p>今後，授業の始めなど，他の学習場面でも行う。</p>
	<p>読書の習慣をつけるために，毎週朝の読み聞かせボランティア（1～3年生）を継続するとともに，4～6年生も図書館を定期的に活用し，読書に親しませる。また，図書委員会の読書週間の取り組みを充実させる。</p>	<p>B</p>	<p>図書館の定期的な活用（低中学年）と月ごとクラス配本の交換，ロング昼休みをぶっくまるの日に合わせたり，長期休業中の貸出制限冊数を増やしたりしてきた。読書週間や調べ学習などで高学年の図書館の利用を増やす（読書に親しむ児童の割合80%以上）</p> <p>国語の新教科書の中に，図書館の利用場面や並行読書など，教材の読みの深まり等をねらう単元がある。さらには，他教科と図書館の関連など，情報発信の場としての図書館の在り方の研修を行う。</p>
	<p>家庭学習の内容を校内である程度統一し，保護者にお便りや懇談で周知し，協力を得る。</p> <p>家庭学習強化週間を設定し（北陵中ブロック），家庭学習や自主学習の習慣付けを図る。</p>	<p>C</p>	<p>全教職員で家庭学習の内容の統一（音読，国語，算数の3つ）と学習時間のめやす（北陵中ブロック統一）を確認し，学校便りや学年便り，学級懇談で保護者へ知らせている。</p> <p>家庭学習は，（児童アンケートで「きちんと宿題をしている」92%）でよくしているが，めやすの学習時間に達している児童が少ない。そこで，授業との関連や学年に応じた活的な問題も取り入れていくようにし，家庭学習強化週間で家庭学習を1時間以上する高学年の児童を増やす（家庭学習を1時間以上する児童（高学年）を80%にする）。</p>

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」